

OTO×NOMA

オシャレな雰囲気曲作りのポイント！
クラブジャズ風のアレンジについて

今日の講義内容

- ① 急がば回れ～複合的な要素のポイント～
- ② クラブジャズ風のアレンジのポイント
- ③ オシャレなアレンジ実践解説

① 急がば回れ
～複合的な要素のポイント～

例えばオシャレ+カワイイな曲を作りたいが...

いきなり色々な属性が混ざった作品を作るのは結構難しい。

当たり前の話だが、何か複合的な要素で構成されるものを学ぶには要素を分解して考えるのがポイントになる。

魔法剣士になるためには魔法使いと剣士を習得しないとイケない…的な

② クラブジャズ風の アレンジのポイント

クラブジャズ風のアレンジのポイント

- ① リズム(3点)はシンプルに4つ打ち中心で
- ② デジタル楽器とアナログ楽器のバランスを考える
- ③ コードワークは7thコード(以上)を主体に
- ④ スtringスはユニゾンの割合多めに

①リズム(3点)はシンプルに

- 3点ではあまり凝ったことはせず、しっかり土台作りをする意識で
- ビート系のサンプルを組み合わせて充実させる
- フィルもサンプルから引っ張ってきて切り貼りがオススメ
- 上物がジャズ風でも踊るための音楽であることは変わらない

② デジタル楽器とアナログ楽器のバランスを考える

- 打ち込み主体のジャンルと生演奏主体のジャンルの複合
- 上物がアナログ楽器多めになりがちなのでリズムはデジタル系のサウンドにするとバランスが取りやすい

③コードワークは7thコード(以上)を主体に

- ジャズのコードワークは7th(4和音)が基本
- テンションを無理に盛るよりはモーダルインターチェンジを活用する

④ストリングスはユニゾンの割合多めに

- リズムパートがしっかりしているのでユニゾン主体でバランス対抗する。
- オススメはユニゾン(ブロックコード含む)、デュアルオブリガート
- ショートノート中心のリフ的フレーズを盛り込むと○

③ オシャレなアレンジ実践解説

質疑応答